



授業力を高める！！

11月、研修の一環でお互いの授業を見合い、助言し合う中で授業力を高める「授業相互参観」を行っています。1学期は各教科ごとに代表者を決め、授業を参観し、新学習指導要領で求められる「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりの手立てを研修しました。その実践版が今回の授業相互参観です。毎月行われる授業公開日には昨年より多くの保護者の方が授業を見に来ていただき、アンケート等にご協力をいただいております。アンケートの内容を参考にし、更に授業を改善していきます。

3学期は学年毎に焦点となる学級を決め、「小グループによる学び合いをつくるための指導のあり方」について研修を行う予定です。

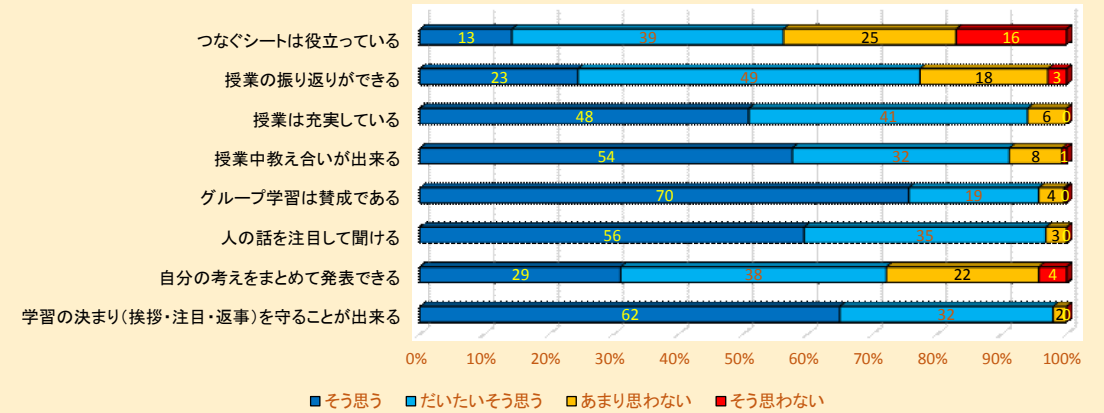
令和2年は新学習指導要領全面実施1年前であり、最終準備段階の年となります。スムーズな全面実施のため、準備を滞りなく進めて参ります。その取組は学校便り等で保護者の皆様にも随時お知らせいたします。

また、来年度、学校のアドバイザーとして上智大学名誉教授増淵先生をお招きし、授業改善や学校運営についてご助言等いただく予定です。



授業の基本として、生徒が先生の話聞いてノートをとるような旧式の授業形態ではなく、生徒が自主的に問題をつかみ、みんなで試行錯誤しながら問題を解決していく学習スタイルをとっています。そして授業の終わりに「今日何が理解できたか」を自分で授業を振り返り、課題であったところを家庭学習の計画にとり入れるつなぐシートの活用を図り、家庭学習の習慣化を身につけさせたいと思っています。

1学期 学習評価



【小グループによる学び合いについて】

先生の話を一方向的に聞くという講義形式の授業スタイルではなく、生徒同士がお互いに意見を述べ合い、教え合い、学び合える主体的な学習に授業スタイルを変えています。上記グラフの結果は1学期の生徒の授業アンケートの結果です。生徒達は教え合いができるは全体の86%が肯定的な意見を持っています。また、89%が授業に取り入れることに賛成しています。しかし、課題として、授業では「雑談になったり、沈黙してしまったりする」ということがあげられます。まずは「学び合う」意義について生徒に理解させ、学習の上でお互いのまちがいを大切に、そこから教え合える風土をつくる必要があります。そして適切な学習課題を教師が提示し、活動を見届け、支援をする必要があります。

今後、学習の進め方や学習課題の設定の仕方、提示の仕方、グループの学び合いの支援の仕方等見られた課題をひとつずつ解決をしていきます。そして最終的には深い学びに導いていく指導力を身につけなければなりません。今後も子供達の生きる力と将来に役立つ力を身につけさせるために職員一丸となって努力していきます。

吹奏楽部アンサンブルコンテスト行われる

11月12日市立柏高等学校でアンサンブルコンテスト東葛飾地区大会が行われ、2年生10名、1年生9名で3チーム出場しました。結果は金管弦バス七重奏と木管八重奏が銀賞受賞。打楽器四重奏が金賞受賞。1枠の地区代表には次点でした。

吹奏楽部は常に爽やかなあいさつと休日の練習解散時には合唱を披露ししめくくりをします。年々力をつけており、地域からもお招きいただき演奏を行い、高い評価を得ています。これからもチームの和を大切にがんばってほしいと思っています。



つばさ学級市内交流会が行われる

11月12日キッコーマンアリーナで市内中学校特別支援学級交流会が行われました。バドミントンや卓球、ポッチャなどの競技の部やレクの部を通じて市内の中学生と交流しました。東部中学校は交流会の幹事校になり、開会式の司会進行を含め、交流会の運営にもよく頑張りました。一人一人の成長のあとが伺え、とてもうれしくなりました。



